

芸術（美術Ⅰ）

履 修 単 位	2 単位	学 年	1 年
学 科 コ ー ス	商業科	区 分	必修 ・ 選択
使 用 教 科 書	日本文教出版 高校生の美術 1		
副 教 材 等			

1．科目を通した学習内容と学習目標

- ・ 創作活動を通して、表現法を創意工夫できるようにする。
- ・ 美的体験を豊かにし、美術に対する見方や感じ方を深める。
- ・ 主体的に取り組み、生涯にわたり美術文化を愛好する心情を育てる。

2．授業を受けるにあたってのアドバイス

- ・ 表現力を高めるには、説明をよく聞いて繰り返し練習しよう。
- ・ 色々な角度から物を観察し、工夫し、数多くのアイデアスケッチを試みよう。
- ・ 作品制作の他にプリント学習やレポート等もある。提出期限を守ること。
- ・ 教室移動は速やかに行い、道具の準備をしよう。

3．科目を通した評価の観点と評価方法

観 点	知 識 ・ 技 能 （ 技 術 ）	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度
観 点 の 趣 旨	様々な造形要素を把握し、材料の特性を生かして、創造的に表現する。	自他の作品について、いろいろな見方や感じ方，又表現の工夫を学び取り多様な表現の良さを味わう。	表現の楽しさを理解し，創意工夫しながら，目標を持って，よりよい表現を目指す。
評 価 方 法	・ 基礎的技術を身につけている。 ・ 用具の生かし方を工夫している。	・ 創造的な工夫がなされている。 ・ 表現の仕方を習得している。	・ 自分なりの工夫がなされている。 ・ 試行錯誤を重ねながら，集中して作品に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまり（単元）ごとに評価し，学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4. 年間を通した学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【知技】 思考・判断・表現＝【思判表】 主体的に学習に取り組む態度＝【態度】

学期	単元の学習内容	単元の学習目標（ねらい）	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
一学期	オリエンテーション 高校生美術Ⅰで学ぶこと	小中学校での図画工作，美術の学習の上に高校で学ぶ美術の内容をイメージし理解する。	学習内容を理解する。	○			P2～5
			作風や様式を自分なりに捉える。		○		
			主体的に作品のイメージを深める。			○	
	絵画 身近な物を描く鉛筆デッサン	親しみのある身近な静物をデッサンすることで物の持つ造形の美しさを発見し，立体感，質感，存在感を表現する。	線の強弱や陰影を描くことで，表現力を養う。	○			P6～9
			物を正確に表現することで，描写の楽しさを味わう。		○		
			物の見方や感じ方を深め，主体的に取り組む。			○	
	絵画 風景を描く透明水彩	身近な風景を描くことで，改めて自然の持つ美しさを表現する。イメージを感じ取り，画面の構成や色彩に生かす透明水彩の技法と特性を生かして表現する。	空間感を表現するために形や色彩の効果を理解する。 透明水彩の特徴を習得する。	○			P14～17
			構図や色彩に創造的な工夫を行う。 作者の心情が工夫して表現されているか。		○		
			自分なりの感覚を取り入れるため，主体的に取り組む。 お互いの作品を鑑賞し，それぞれの個性を感じ取る。			○	
	デザイン 平面構成	色彩について基本的な理論を学ぶ抽象的な形の構成を行い，造形の基本を習得する。 ポスターカラーのベタ塗りの技術を学ぶ。 構成や色彩の調和のとれた美しさを感じ取る。	構成と色彩について基本的な知識を身につける。	○			P76～77
			自分なりのイメージを形と色で表現できる。		○		
			造形や色彩の働きを考え，計画的，主体的に取り組む。			○	
夏期休暇	夏休み課題 デザイン パッケージのデザイン レポート提出	スーパーやコンビニ等で入手できる菓子や飲料品等のパッケージについて，形や色彩の効果及び材料の特性を生かして表す。 美しさや機能性を見極める。 商品に対する創造性を生かして，レポートする。	色彩や形，質感など全体のイメージを生かして表す。	○			P84～85
			作者の心情や表現の意図を感じ取り，見方や感じ方を深める。		○		
			使いやすさや美しさなどを感じとり，作者の表現の意図と工夫などについて考える。			○	
二学期	デザイン 木片を使ってパズル板にキャラクターを描く	木片を枠にはまるように構成する。 種々の不定形の材料をパズルになるように組み合わせる。 自分なりのキャラクターを創作し制作の計画を立てる。	糸ノコの使い方を習得する。 制作の手順を理解する。	○			P80～85
			主題にそって，イメージを膨らませ，表現の構想を練っている。		○		
			計画的，創造的に見通しを持って学習に取り組んでいる。			○	
	彫刻 身近な素材を粘土を使つての立体表現	果物や野菜を実物大に粘土の特性を生かして造る。 立体としての存在感を質感，重心などの効果を考え構想を練る。 アクリル絵の具を使って創意工夫しながら着色する。	重心バランスを生かして全体の形を捉える。	○			P64～65
			造形的なよさや，美しさを考え創造的な表現の構想を練っている。		○		
			立体で表す表現の創造活動に主体的に取り組んでいる。 作品を通して，造形的な美しさを感じ取り，新たな発想へと繋げる。			○	
	デザイン 自分のマークをつくろう	自分のイニシャル，部活，性格等をイメージし，自己を表現するマークとする。 単純化することで，機能的美しさについて考える。 十分に構想を練り，主体的に取り組む。	造形的な特徴や伝達の効果を基に，イメージしながら捉える。	○			P76～77
			独創的で親しみやすさや統一感を考え構想を練っている。		○		
			自己表現を総合的に考え，構想を練り，意図に応じて表現している。			○	
	絵画 版で表す年賀状制作	版画独特の魅力と特徴を理解し表現する。 親しみを込めた年賀状とすることで，イラスト表現を含めた構想力を高める。 アートとして作成された作品の良さや美しさを味わう。	版画の技法や材料，用具の特性を理解する 彫りや刷りを工夫し，創造的に表している。	○			P38～39
			版の特性を生かして，構想を練り，創意工夫して，創造活動に取り組む。			○	

三 学 期	絵画 作家探究 レオナルド・ダ・ヴィンチ	表情，色彩，構図の効果，全体のイメージを捉える。 レオナルド作品について学習し，ルネサンス期の特徴について考える。	造形的な特徴や作風，様式などを理解している。	○			P53～55
			作者の心情や意図，創造的な表現の工夫について考える。		○		
			レオナルド作品の鑑賞を通して，創造活動に取り組もうとしている。			○	
	彫刻 抽象彫刻 軽石と流木の合成	重心やバランス，動きを生かして全体のイメージを捉える。 材料の特性を生かし表現方法を創意工夫する。 抽象彫刻に表す創造活動に取り組む。	重心やバランスを生かして取り組み，抽象作品を理解している。	○			P62～63
			材料の特性を生かし，造形的な美しさや創造的な表現になっている。		○		
			立体で表す創造的活動に，主体的に取り組んでいる。			○	
	絵画 人物を描く 自画像	自分の，過去・現在・未来を思い自己の内面を見つめる。 点描による正確な表現と同時に明暗を強調することで自分の心情を客観的に描く。	ペン画の技法を習得し，全体のイメージを捉える。 表現方法を工夫することで主題を追求する。	○			P18～21
			自己を見つめ，感じたことや考えたことをペン画の特性を生かした構成を練っている。		○		
			自己の内面を探り，創造的，主体的に取り組んでいる。			○	